

広域連携による市町村事務の共同実施モデル構築事業（2次募集） 採択団体

提案 団体名	連携団体	取組概要
幼児教育に関する助言		
北海道	江別市、恵庭市、北広島市	道内市町村において幼児教育に係る専門人材の配置が困難な中、各市における幼児教育推進リーダーを育成するため、広域での研修を実施するとともに、道の幼児教育相談員や有識者から助言・支援を継続的に受けられる体制を構築する。また、人材確保が困難になっている状況のため、養成校の学生がリーダー候補者の発表を聞く機会を設けることで、幼児教育の魅力発信と人材確保の循環の有効性を検証する。
徳島県	徳島市、松茂町	関係市町と大学教授等の有識者で構成される協議会を設け、幼保小接続期の教育の質の向上に向けた専門人材の配置等の役割分担について検討を行うとともに、広域連携による幼児教育センターの設置等の先進事例調査を行う。また、養成大学と連携した人材育成研修や研修教材の作成を行うことで、各市町の負担を軽減する。
広島県福山市	(広島県) 三原市、尾道市、府中市、竹原市、世羅町、神石高原町 (岡山県) 笠岡市、井原市	7市2町により構成される「備後圏域保育施策検討会議」を活用し、各市町が単独で実施している研修(特に、医療的ケア児や障がい児保育といった大学教授等の専門的な知見を要するもの)について、プログラムとして体系的に整理し、広域化を検討する。また、広域での人材の確保に向け、圏域内の学生や潜在幼稚園教諭等を対象にしたセミナーを実施するとともに、幼稚園教諭等に対するカスタマーハラスメントの未然防止に向けて、専門人材の配置検討や圏域共通の予防・対応マニュアルの作成を行う。